

PSRアドバンス・プログラム2019

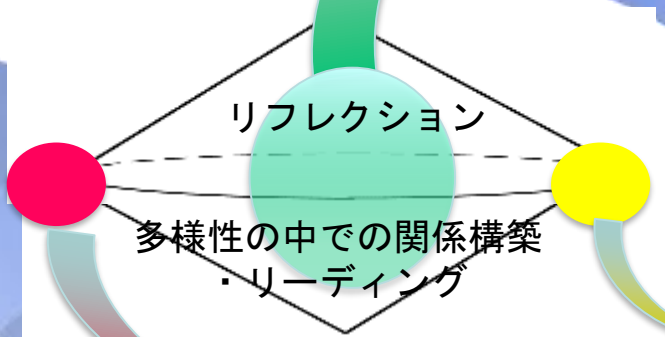
「創造的合意形成プロセス」

参加者の声

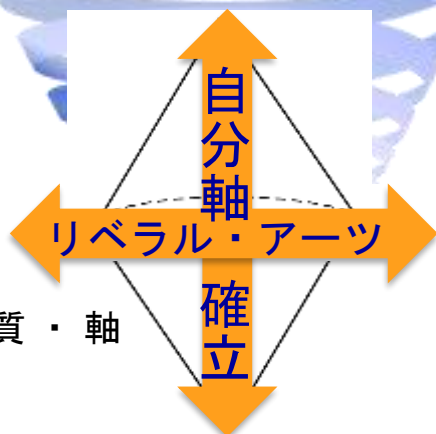
経済人コー円卓会議日本委員会

CAUX  ROUND TABLE

実践 (個別コンサルティング)



異文化間における
創造的合意形成



【PSRプログラム全体像】

(4) Cauxプログラム：6日間
(毎年7月上旬開講予定)

(3) フィールドワーク
7日間/回 年に2回の実施予定
**アジア、ヨーロッパで
各1回想定

(2) アドバンス・プログラム
3時間/x 6回 (隔月開催)

(1) 8ヶ月ベーシック・プログラム
2日間連続・終日/月 x 8回

◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

【他者への関わり】

- ▷ 自分の意見を押し通すことを考えて相手の話を聞くのではなく、相手の意見の立脚点は何か、背景は何かまで意識を向けて理解しようと心がけることが増えた。
- ▷ 「自分と異なる意見にも何かしら共通項がある」という前提で、注意深く相手の意見を聞き考えるようになった。
- ▷ 他者の立場から出る意見や考えを受容し、共通項を探すようになった。今後も続けていく。

【自分自身の変化】

- ▷ 物事を見る視点が変わった。今までと違う角度から見ることができるようになった。

◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

【自分自身の変化】（続き）

- ▷ 自身の考え方の根底にあるものは何なのか？ということを考えるようになった。
- ▷ 日本のみならず世界で起きていることに対する興味が沸き、普段からNewsに注目するようになった。
- ▷ 以前よりも臆せず発言できるようになった（人生の先輩がいると発言を臆するタイプだったのが変化した）。
- ▷ 問題意識をもって物事を見るようになった。
- ▷ 即座に大きく変わるものではないが、仕事において、多様な視点、広い視野から物事を捉え考える習慣をつける、という意識をより強くもつようになった。
- ▷ 少し時間があいて忘れかけていたPSRベーシックプログラムで学んだことを思い出しつつ受講した。大きな視点で考えるよう再び心がけたい。

◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

【自分自身の変化】（続き）

- ▷ 自分の考えを話すことへのためらいが減った
- ▷ 考えたことを言語化することを意識するようになった
- ▷ 上手にソフトに、誰の感情を刺激することもなく、自分の考えを差し挟んでいくということができるようになろう、やってみようという意識が芽生えた。

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで）

【考え方の違いと共通項】

- ▷ 似た言葉で表現されていても、そこに込めている想いや考えは違うことがある。だからこそ、対話しながら知ることが大事
- ▷ 同じものを読んだり見たりしても、感じ方や考え方は人それぞれ。それぞれの感覚や考え方を大切にしながらでも、どこかに共通項はある
- ▷ 多くの意見がある中で共通点は必ずあるはずで、その共通点がターゲットを動かすのにとっても重要であると感じた
- ▷ 価値観の違い
- ▷ 共通項を抽出する難しさ
- ▷ 異なる意見があった時に、いかに共通項を見出すか？（限られた時間内では、妥協が入ってしまい、納得感のある真の理解まで到達するのが難しい）

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで）

【議論とトピック】

- ▷ 相手の意見を受けて自分の考えを良い意味で変えていける自由が、良い議論を生む
- ▷ 議論をすること自体がとても楽しいものだと気付いた
- ▷ 日常生活で深く考えたことのないトピックについて思考し、ディスカッション等を行うことで視野の広がりを感じた
- ▷ 普段、日常で直面している課題よりもずっと大きなテーマを基に、自分の考えを整理することを通じて「思考・整理の訓練」ができたと感じる
- ▷ 同じ課題でも人によって切り口・見方が違い、一人では思いつかない発想が出てくる。また新しい議論が始まる面白さに気づいた

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで）

【議論とトピック】（続き）

- ▷ 日常の中で、何気なく通り過ぎてしまっていることについて、課題として考える機会を与えられることによって問題意識を持つことができた。問題意識を持つことで視野が広がり、世界が広がることを強く感じた。
- ▷ 相手が言っていることの真意を正確に掴むことの大切さ
- ▷ 微細な違いを逃さず丁寧に深堀していくこと、自分のバイアスを交えずに平易に聞くことの難しさと重要性
- ▷ 相手が抵抗感なくスムーズに聞けるよう、自分の意見や違和感を表明する方法（他の参加者から学ぶことができた）
- ▷ 自分と逆の意見・立場で議論することの難しさを感じたが、そこから相手の論点の弱点を見つけることができることに気づいた

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） * 続き

【ステートメント作成】

- ▶ 出自の異なる方々との議論を通じて、共通項を見出しステートメントにまとめることの難しさを痛感し、自分の課題点を見つけることができた
- ▶ ステートメントをまとめる過程からどうやって議論をまとめていくか、についてヒントが得られた
- ▶ さまざまな考え方・意見から共通項を見出すだけでなく、対象に響くステートメントにまとめるプロセスと観点

【その他】

- ▶ 同じ題材であっても自分と異なる考え方、視点が多くあり、自身の考えにいかにか固執していたかが分かった
- ▶ 色々な人の意見を一つにするのは難しい

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） * 続き

【その他】（続き）

- ▷ 業務や人生からまったく離れたテーマであっても、業務や人生に繋がるポイントが必ず隠れているので、それをどう自分に落とし込むかが大事
- ▷ リベラル・アーツ的な考え方の重要性（価値観の背景、世の中の広さ）
- ▷ 勤務先・世代の異なるメンバーとコミュニケーションをとれたこと

◆ 学びを今後の仕事や日常生活にどのように活かしていきたいか？

- ▶ まずは人の話を聞くこと、そこからその人の言葉の裏にある想いや考えを深掘りし、自分の考えや感覚との“共通項”を探すことから始める
- ▶ “正しい”ことなんてない！ということ、常に意識する
- ▶ 現在の仕事では異なる意見のぶつかり合い/戦いとなっている中で、共通点を導き出し、同じ方向感をもって進めていけるのではないかと思う
- ▶ 自分と他者との違いを楽しみ、一緒にやるからこそそのアウトプットを目指していきたい
- ▶ 仕事において、多様な視点、広い視野から物事を捉え、考える習慣をつける
- ▶ 近視眼的になりがちなので、対局にふって考えてみることを癖づけていきたい
- ▶ 方針を語るときに、心に響くメッセージを使っていきたい

◆ 学びを今後の仕事や日常生活にどのように活かしていきたいか？ * 続き

- ▷ 人の話を聞く、耳を傾けることの大切さを改めて感じたので、よく話を聞くようにしたい
- ▷ 世の中のことに対して問題意識をもって、その事象を見ることを心掛けたい
- ▷ 異なる価値観があることを認める
- ▷ 相手の考え方の背景の理解に努め、皆が納得する方向に物事を進める
- ▷ 自分のバイアスを交えずにできるだけ平易に聞くことを意識して人の話を聞く
- ▷ 短時間に的確に真意をつかむことができる質問力を鍛え、実践を通じて磨いていきたい
- ▷ 真剣にコミュニケーションをとる
- ▷ プログラムへの参加を通じて養うことができた、幅広い観点を、職場のメンバーとの日々の議論に活用したい

◆ プログラムの一番の魅力

- ▷ 年代も経験も全く違う方々と率直に議論できること
- ▷ “違うこと”よりも“同じこと”を大切にしてテーマを進めていけること
- ▷ その時々^の時事ニュースをとりあげたり、哲学をとりあげたり、とテーマが多岐にわたること
- ▷ 多様性の本当の意味での気づきと、その対応の仕方を学ぶことができる点
- ▷ なんの損得もなく、意見を言えるところ
- ▷ 自身が普段あまり考えることのないトピックについて考える機会があり、ディスカッションを通じて、考えを深められること
- ▷ 壮大なテーマについて考える機会を与えられること（普段の生活・仕事の中では、そういう機会はなかなかつくれないので楽しい）
- ▷ ディスカッションメインで、いろいろな視点・考え・意見を聞いたこと。
今回のプログラムは他社との合同だったこともあり、実に面白い議論ができた。

◆ プログラムの一番の魅力 * 続き

- ▷ 共通の課題について議論することで、新たな気づきを得られたり、自分の考えを整理したりできる点
- ▷ 自身の考えをアウトプットすること
- ▷ 宗教・哲学・人種等、多面的な切り口で考える機会があること
- ▷ さまざまな意見から、より目線の高い考え方と伝え方を導き出す経験
- ▷ ここまで時間をかけてとことん議論し、その中から共通項を見出しメッセージを考えるとというプロセスを経験できること、そのものに大きな魅力がある

◆ その他ご感想など

- ▶ どんなテーマでも、その人自身（自分自身）の価値観があぶり出され、自分がどういうことを大切に思っている人間なのかに気づく瞬間も多々ありました。一方で、自分の価値観は横に置いておき、“一つのステートメントを作成する”というゴールを目指すことだけに集中する瞬間もあり、その2つをバランスさせるよい訓練になりました。今後、この気づきを日々の業務でも活かしていければと思っています。ありがとうございました。
- ▶ グループ分けを、近しい考え方を持つ人で括って共通項を抽出する経験の他に、意見に幅をもたせたグループでディスカッションを通じて合意形成を目指すのも面白いのではないかと考えます。
- ▶ 難題ばかりでしたが、とても楽しんで受講させていただきました。ありがとうございました。他の社員にも経験させてあげたいです。
- ▶ 最終回に全員でのディスカッションを実施したが、グループ間でのディスカッションも刺激的だった。中間あたりでも一度、実施してもよかったと思う。

◆ その他ご感想など * 続き

- ▷ 午後のみという限られた時間なので、集中して受講することができました。講師が話す、少し脇道にそれた話題が一番、心に刺さることもありました。
- ▷ 一年近く大変お世話になりました。個人として大変学びが深い研修でした。
- ▷ 貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

CAUX  ROUND TABLE